

SIMPLE is BETTER !!

印刷物は、「水なし印刷」に切り替えよう——。

より持続性可能な、原点回帰の印刷方式が水なし印刷。

洞爺湖サミットポスターに水なし印刷が採用されました。

水なし印刷の持続可能性(サステナビリティ)が今、見直されてきました。

今の印刷の主流のオフセット印刷はインキ(油性分)と湿し水(水分)の反発する化学的な仕組みを利用した高度な技術に立脚したものです。その化学的な仕組みのため、アルコール液の添加、湿し水からのVOC発生、湿し水廃液の処理など、持続可能性(サステナビリティ)での障害は避けられません。

水なし印刷は古来の印刷術・活版印刷に一脈通じるSIMPLEな物理的な方法で版にインキづけをします。湿し水とその廃液にまつわる障害を一切シャットアウト。

日本WPA「水なし印刷CO₂排出量削減計算モデル<Ver1.0>」では従来オフセット印刷法をはるかに凌駕する水なし印刷の数値を示してくれました。

CO₂削減は日々の小さな心がけの積み重ねで、大きな削減数値を引き出してくれます。

印刷用紙・印刷素材のグリーン調達も重要なが、Kg-CO₂の削減に直に切り込む「水なし印刷」の用度調達こそが、ポスト京都議定書ではますます、求められます。

最近、多くの印刷会社が水なし印刷を採用し始めている由縁です。

NEW環境展2008で日本WPAと会員企業は、水なし印刷のサステナビリティの啓蒙展示をしています。ぜひ、水なし印刷の各社のブースにお立ち寄りください。

日本WPAブースでは素敵なクリアファイルに入った、詳しい「水なし印刷・CO₂排出量削減計算モデル」を配付しています。

水なし印刷では20 μ (ミクロン)の微細網点のFM印刷を安定的にこなす。

最近普及し始めたFM高精細でも安定的に印刷できるのが、水なし印刷のもう一つの特徴。水が介在するオフセット印刷では微細網点に水が回り込み、網点形状をゆがめます。SIMPLEな印刷の仕組みのために水なし印刷では微細網点の再現が得意で、印刷品質がさらに向上します。

[NEW環境展 出品の日本WPA会員企業]

株式会社久栄社・株式会社文星閣・株式会社栄光舎・野口アルミ箔加工紙株式会社・日本WPA事務局一清水印刷紙工株式会社

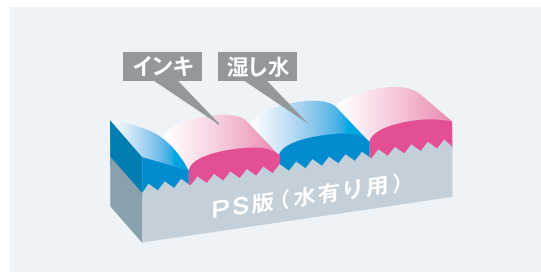
日本WPA (日本水なし印刷協会)
JAPAN WATERLESS PRINTING ASSOCIATION

〒112-0006 東京都文京区小日向2-31-14 TEL03-5976-8031 / FAX03-5976-8030 <http://www.waterless.jp/>

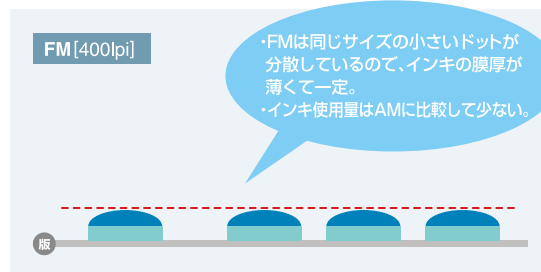
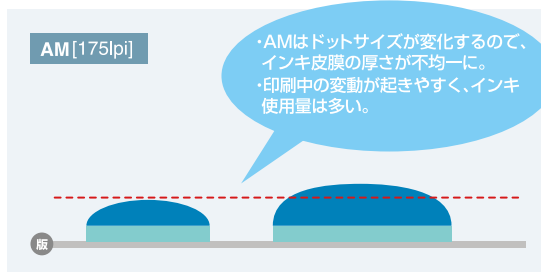
環境度と品質度をさらにあげてくれる、水なし印刷の特徴

厚紙及びプラスチックへのUV印刷、欧州での小ロット向け新聞印刷、小ロット輪転シール印刷にまで利用され始めている印刷方式です。

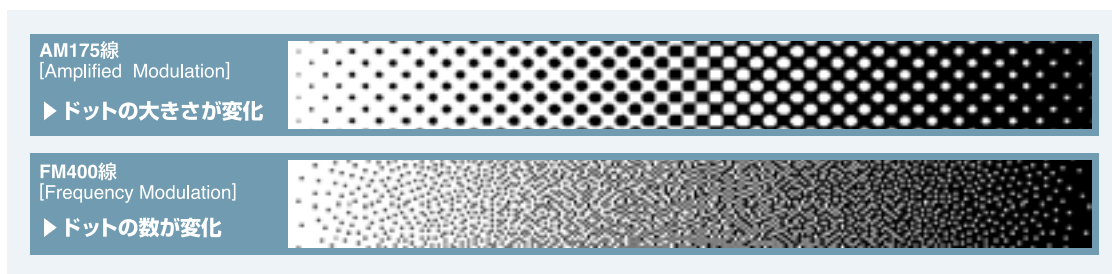
- ① 印刷に使用するインキとほぼ同量を使用する水と、水に最大5%混合する有機溶剤を全く使用しませんので、CO₂排出量削減を図れる印刷方式です。



- ② 印刷中に使用する水の微細変動による色ずれが無いので、カラーマッチングシステム (CMS)において色バランスの安定した優れた印刷方式です。



- ③ 印刷中に使用する水が高精細のFMスクリーニング方式の網点に入り込まないこととの相乗効果により、圧倒的な表現力を発揮してくれる印刷方式です。



About the "WPA" WPAの結成について

■WPA結成

1978年、アメリカで産業廃棄物を下水道に排水する取り締まり強化のための条例「事前処理基準」が制定され、1993年9月、印刷業者40社、機材メーカー27社がシカゴに結集し、水なし印刷の採用を啓蒙する団体WPA (Waterless Printing Association) が結成されました。

ただちに水なし印刷実施のトレードマークをつくり、使用基準を明確にしました。水なし版を使い環境保全に積極的に取り組み、しかも品質の高い印刷物を製造する印刷会社しか使用許可を認めないという、実に厳しい使用基準でした。

その後、水なし印刷を認証するウォーターレスマーク (バタフライマーク) へと変更されました。

■日本WPA結成へ

バタフライマークが米国で誕生すると、FSC、SOYマークなどの環境ラベルと同列に行政や企業、そして印刷業者からマーク取得の機運が生まれてきました。2001年の「環境報告書」で始めてバタフライマークをトヨタが掲載したのを機に、多方面の印刷物にバタフライマークが掲載されてきました。

同年のIGAS展で印刷会社の有志20社が集い、日本独自のWPA結成の決意を固め、2002年5月に日本WPAが誕生する運びとなりました。

